

令和5年12月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年12月21日(木) 午後3時00分

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、關野洋香委員、圓山留美委員
佐原孝信委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、萩原学校教育課長、布尾文化振興課長、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、清水図書館長、砂山学校教育課長補佐

5 協議事項

【報告案件】

- (1) 報告第1号 令和4年度事業の点検・評価について(学校教育課等)
- (2) 報告第2号 令和5年度教育論文・教育実践記録募集及び表彰式等について
(教育総合センター)
- (3) 報告第3号 令和6年「二十歳のつどい」の開催について(文化振興課)
- (4) 報告第4号 (仮称)ひみ発見館基本設計の概要について(文化振興課)
- (5) 報告第5号 「第70回文化財防火デー」に伴う消防訓練の実施について(博物館)

6 会議内容

- (1) 教育長の挨拶
- (2) 教育長の報告

令和5年12月1日(金)から12月21日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

(3) 協議内容

報告第1号は関係所属長が報告した。

報告第2号は山口教育総合センター所長が報告した。

報告第3号は布尾文化振興課長が報告した。

報告第4号は布尾文化振興課長が報告した。

報告第5号は布尾文化振興課長が報告した。

[質疑応答]

・令和4年度事業の点検・評価について

- 委員 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の設問が変わったからだと思うが、当初の数値目標が変更となっている項目がある。数値を比較するのであれば、同じ数値目標であった方がよい。
- 事務局 数値目標については、すでに第3期教育振興基本計画で設定されているため現行のままとし、次期計画の策定時には委員のご指摘を踏まえて数値目標を設定したい。質問紙の設問変更により数値目標が変わったものについては、注釈を入れてホームページ上で公表したい。
- 委員 目標値が高いものがある。令和8年度に達成可能であるのか、一度検討したほうがよいと思われる項目があった。例えば、基本目標A学校教育の充実の基本方針4良好な教育環境の整備のうち、①地域に信頼される学校づくりの数値目標は、「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている」と答えた学校の割合が、小学校30%、中学校20%となっている。数値目標はいずれも100%であり、達成する見込みがないのであれば数値目標を再検討する必要があるのではないか。
- 委員 来年度からコミュニティ・スクールが導入されるため取組みは進むと考える。この設問の対象は学校数であるため、中学校の実績の20%は義務教育学校を含む5校中1校が実施していることになる。残り4校が実施すれば100%となるため、達成できない数字ではないと思う。逆に、すでに目標を達成している項目は今後どうするか考えた方がよい。
- 事務局 芸術文化館のイベントに係る数字については、旧市民会館の数字を参考としているため、大幅に実績が上回った。こういったケースについては今後の状況を見て検討していきたい。目標と比較して実績値が大幅に低い項目に関しては、今後の推移を注視し、計画の最終年度で総括したい。4年度についてはコロナ禍の影響が大きいと考えている。
- 委員 どこを見据えて教育委員会が取り組んでいるのかを示すため、数値目標の検討は必要である。また、学校にも目標値を示し、達成のための働きかけをする必要がある。
基本目標 E スポーツの推進の基本方針1生涯にわたりスポーツを楽しむ環境づくりとあるが、人生100年時代と言われており高齢者のスポーツ参加が増えていくと思われる。そこで、ウォーキングはスポーツに含まれるのか教えてほしい。
- 事務局 含まれる。
- 委員 高齢者にとって、ウォーキングはとてもよい運動と考える。今後の方向性に、高齢者のスポーツについても言及があるとよいと思う。
- 事務局 生涯スポーツの流れについて言及があってもよいと思う。
- 委員 基本目標A学校教育の充実の基本方針1 確かな学力の育成のうち、⑤教職員の資質向上の設問に「教員は、校内外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・

継続的に参加していますか」とあるが、実際はこの実績よりもっとやっていると思う。重要なのは、やっているという意識付けだと考える。また、④芸術文化活動の推進の設問の令和4年度実績が小・中いずれも80%となっている。目標値は90%となっているが、義務教育学校を含め中学校は5校であるから90%という数字はありえないと思う。あるとしたら、80%か100%となる。

基本目標 E スポーツの推進の基本方針2競技力の向上のための環境づくりの設問に「トップアスリートのIJUターン者数/年間」とあるが、実業団を経て富山ドリームスに入る場合はトップリーグを経験した人に該当すると思うが、大学を卒業してドリームスに入る場合はトップリーグを経験していない。もし、全国大会で優勝やトップリーグを経験した人がトップアスリートと定義するのであれば、その辺を考慮してほしい。芸術文化館が開館し、全国から多彩なアーティストが集まり、氷見市民の芸術的な意識は高まっていると思うが、スポーツにおけるトップチームについては、種目的に限られていると感じる。見ることによって関心が高まるということもあるので、様々な種目のトップアスリートに触れる機会があればよいと思う。

(4) 1月の行事予定を各所属長等が説明し可決された。

(5) 2月の定例教育委員会議の開催を2月22日(木)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後4時45分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員